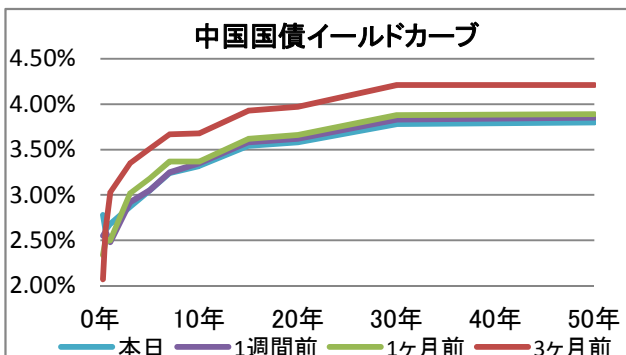
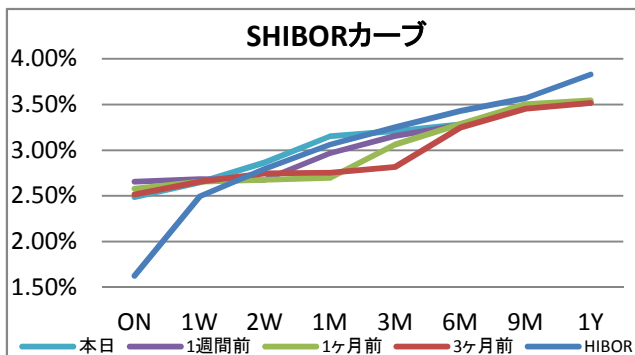


## ①市場概況

基準レート		2018/12/21	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.8825	0.0075
	JPY/CNY	6.1905	0.1377
SHIBOR	3M	3.2090%	+0.0530%
国債利回り	10年	3.32%	-0.03%
上海総合指数		2,516.25	-77.49



### (1) 概況

週初は米FOMCを控えて株式市場が続落する等の神経質な展開となり、中国では財政悪化懸念から債券利回りが上昇していた。しかし、パウエルFRB議長が予想通りの利上げ実施後にハト派的と受け止められる発言をしたことから米国債利回りが低下し、中国でも中央経済工作会議を前に経済成長見通しの6.0%～6.5%への引き下げや大規模財政支出による景気刺激策への否定的なコメントが伝わり、株式市場は下落を続け、債券利回りも低下に転じている。

### (2) 金融調節

中国人民銀行は月曜日に37営業日ぶりとなる新規リバースオペによる資金供給を再開したものの、月末には財政支出が見込まれることから短期の資金需給調整を目的とするものとなった。また、中小企業等をターゲットとする新たな資金供給の仕組み(TMLF)や手形再割引枠の拡大策等を実施している。

### (3) 主な経済指標

特になし。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.4860%	2.5100%	2.4000%	
1W	2.6490%	2.3000%	2.0000%	2.0000%
2W	2.8660%	2.9000%	3.7800%	3.9500%
1M	3.1540%	3.6000%	4.1000%	3.8000%
3M	3.2090%	4.1800%	4.0000%	3.4200%
6M	3.2840%	4.0000%	3.7000%	3.5000%
9M	3.4800%	4.1000%		3.5000%
12M	3.5170%	4.0500%		3.4800%

中国人民銀行のリバースレポによる資金供給再開が資金需給緩和よりも短期的な調整を目的としていたことに加え、中小企業向けの資金供給策を拡充したことから、市場の金融緩和期待は後退し、短資資金市場の金利水準は年末と春節を控えて下がりにくい状況ながら、取り急ぐ動きは依然見られず比較的落ち着いた状態が維持されている。NCD市場では、年内や3月末までの期間に加え、長めの期間での活発な取引が続き、金曜日には金利水準が若干の低下しているものの、金利水準を押し下げる程の積極性はない。

### (2) 米ドル資金 (本土内)

	SHIBOR	無担保資金
ON	2.40%	2.45%
1W	3.10%	3.15%
1M	3.15%	3.25%
3M	3.35%	3.40%
6M	3.50%	3.55%
12M	3.80%	3.85%

米FOMCでの利上げは織り込み済みであったことから、超短期の取引での金利上昇を除きほぼ影響はなく、年末越え資金の期間が短くなるにつれて出しが見られるようになり、2週間から1ヶ月までが3.10%～3.20%を中心とする取引が続いた。それ以外の期間は総じて閑散。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.78%	3.14%	3.38%	3.49%	3.99%
6M	2.61%	2.97%	3.38%	3.51%	4.02%
1Y	2.68%	3.04%	3.43%	3.68%	4.16%
3Y	2.87%	3.29%	3.73%	3.84%	4.46%
5Y	3.05%	3.44%	3.99%	4.12%	5.11%
10Y	3.32%	3.67%	4.20%	4.31%	5.40%

週前半は年末越え資金需給の引き締めや財政悪化懸念、国外投資家の投資意欲の低下等から利回りの上昇が続いたが、経済成長見通しを下げざるべき等とのコメントやパウエルFRB議長のハト派的発言による米国債利回りが低下したことを契機に中国債券利回りも低下に転じた。さらに、世界的な株安や財政悪化懸念の後退により債券利回りは一段と低下した。イーロッドスプレッドは、短期国債利回りの上昇によりフラットニングに転じているものの、信用スプレッドは短期では国債利回りの急上昇により大幅に縮小したが、長期は週前半に縮小した後、国債利回り低下による拡大に転じ、ほぼ前週末水準で取引を終えている。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1W	0.2 / 0.3
1M	0.5 / 0.8
3M	-21.0 / -19.0
6M	-79.0 / -77.0
9M	-152.0 / -145.0
12M	-239.0 / -233.0

対ドル基準値は6.8825と前週末比+75pipsのドル高元安、対円基準値は6.1905と同+1377pipsの円高元安と、ドル安と人民元安を映じた設定が続いた。スワップ幅は、前週に続き人民元短期資金市場での金利水準上昇によるディスカウント幅の縮小が続いている。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.69%		2.53%
6M	2.69%	3.21%	2.56%
9M	2.68%	3.21%	2.56%
1Y	2.69%	3.21%	2.59%
3Y	2.83%	3.37%	2.76%
5Y	3.00%	3.52%	
7Y	3.15%	3.67%	
10Y	3.27%	3.74%	

短期の基準金利が資金需給を映じて上昇傾向となったものの、債券利回りが週央から低下に転じたことや投資家のヘッジオフアーにより、前週末水準を大幅に下回る水準に低下している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。